

さがみフレンドホーム(短期里親)をご存じですか

さがみフレンドホームは、児童養護施設等で生活している子どもに家庭体験をさせながら、子どもの成長を見守り応援して頂く方々です。週末や夏休みなどの長期休暇を利用して、月1回程度の交流を定期的に続けます。

子どもが児童養護施設等を巣立つまでの長期間、子どもに想いを寄せてくれる方々との繋がりが、子どもの大きなサポートになっています。

2025年度は37名の子どもがさがみフレンドホームとの繋がりをもち、交流を行いました。ここ数年、このさがみフレンドホームを必要とする子どもが増えていますが、さがみフレンドホームが不足しています。この活動にひとりでも多く関心を持って頂けると嬉しいです。

職員紹介



今年度より、ふうせんかずらで里親等相談支援員として働くことになりました、水落有佳と申します。

以前までは相模原南児童ホームの乳児院で勤務しており、8年ほど子どもの生活や成長にかかわってきました。

新しい環境に戸惑うことも多いかと思いますが、日々子どもと向き合っている里親さんのお力に少しでもなれたら嬉しいです。

どんな小さなことでも、気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。(ふうせんかずら 水落)

<問い合わせ先>

相模原市里親養育包括支援センター

「ふうせんかずら」

〒252-0231 相模原市中央区相模原5-1-20 南栄ビル402 電話 042-704-8433 (平日 土日祝日 午前9時～午後6時)

ふうせんかずら ホームページ



里親体験談を開催します

来る8月1日(土)10時よりユニコムプラザさがみはらにて『里親体験談』を開催します。さがみフレンドホームとして活躍中の里親さんの体験談、長期養育の体験談を聞くことができます。話を聞くだけでも大丈夫です。

たくさんのご参加をお待ちしております。

日にち 2026年8月1日(土)
時間 午前10時～12時(受付開始 9時半)
会場 ユニコムプラザさがみはらセミナールーム1
下記のQRコードでお申し込みいただけます。

お申し込みは、メールでお申し込みください。
<メール:minami-satooya@chusinkai.jp>
お問い合わせは、相模原市里親養育包括支援センターふうせんかずら平山まで。
<電話:042-704-8433>



相模原市委託事業 相模原市里親養育包括支援センター主催
子どものための **里親体験談**

DVDによる制度説明、口頭による里親制度説明、2名の里親さんからお話が聞けます

里親とは、様々な事情により保護者と生活が難しくなってしまった子どもを家庭に迎え入れ愛情と理解を持って養育して下さる方のこと。
里親制度とは児童福祉法に基づいて、里親に子どもの養育をお願いする制度です。

日にち 2026年 8月1日 (土)
会場 ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1
相模原市南区相模大野3-3-2 bono相模大野サウスビル2階
時間 午前10時～12時 (開場 9時半)

申し込みは事前に下記メールまで (QRコードでも読み取れます) minami-satooya@chusinkai.jp
①住所(相模原市〇区)
②参加して表者の氏名(ふりがな)と参加人数
③電話・携帯の番号またはメールアドレスを記載下さい。

お問い合わせ先 相模原市里親養育包括支援センター「ふうせんかずら」
〒252-0231 中央区相模原5-1-20 南栄ビル402
電話 042-704-8433 (平日・土日・祝日 午前9時～午後6時)

相模原南児童ホーム通信



つながりを大切に

5月17日(日)に乳児院で「みなみっこ全員集合」を開催しました。退所した子どもたちやご家族、里親の皆さんが施設に集まり、「大きくなったね」「頑張っているね」といった温かい言葉が交わされ、久しぶりの再会に笑顔が広がりました。手作り遊びやゲームコーナー、職員による劇などで、世代を超えて楽しい時間を過ごしました。子どもたちの成長した姿に驚きや喜びの声があふれ、近況を語り合う温かな交流の場となりました。これからもつながりを大切に、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央



みなみっこ全員集合!!

5月17日(日)、施設行事「みなみっこ全員集合」を実施しました。相模原南児童ホーム乳児院で生活していた子どもたちを招待して、子ども達の成長を皆で楽しくお祝いしました。来てくれた子どもたちが楽しく過ごせるように、乳児院での生活を振り返るビデオを作成したり、趣向を凝らしたブースを用意したり、ステージ発表の練習をして当日を迎えました。乳児院にいた頃に抱っこされていた子が自分の足で歩いて遊びに来たり、お話がとても上手になっていたり、子ども達の成長した姿を自分のことのように嬉しく感じられることができました。この行事を通じて、ホームを巣立って行った子ども達との再会、そしてその成長を喜ぶことがどんなに幸せなことか、毎年実感することができます。本当に素晴らしい行事だと心から思います。

ご来場してくれた方々、施設職員に感謝します。都合がつかずに参加出来なかった方々も、是非、来年はお越しいただければと思います。また、会いましょう! (乳児課第一係 早川)



苦情報告(2026年3月)

<申し立て内容 利用者の保護者より>
今まで利用時には姉妹一緒にユニットで受け入れを行って来ていた。しかし、市のショートステイ窓口の担当者から本年4月から姉妹の受け入れが別々のユニットになると聞いた。姉妹と一緒にないと困る。もし、別々になるのであれば利用しない。
<原因>
施設のショートステイ担当者は、市のショートステイ窓口である子育て支援センター担当者に、4月よりショートステイ合計3枠は、内訳として3F女子ユニット1枠、2F幼児女子ユニット1枠、2F幼児男子ユニット1枠であることを伝えました。併せて、施設のショートステイ担当者は、子育て支援センター担当者に日中及び就寝時も姉妹同じユニットで過ごすことも出来るため、施設で調整しますと伝えていました。
しかし、子育て支援センター担当者は、利用者の保護者にショートステイ3枠の内訳のことを伝えてしまったことで、姉妹別々のユニット(3F女子ユニットと2F幼児女子ユニット)の部屋になると感じてしまいました。

<対応>
施設のショートステイ担当者が、利用者の保護者に姉妹同じユニット(部屋)で過ごすことが出来ることを説明し、安心されました。

ご寄付お礼

【2026年1月～3月】

- 株式会社セクメット 瀬戸 誠 様/金徳信 様
- 豊浦 正道 様/株式会社ザ・シティ
- 相模大野店 様/株式会社Gen Mark Corporation
- サンラッキー相模原店 様/日広建設株式会社
- 鈴木 由郎 様/一般財団法人
- 日本児童養護施設財団 様/芳賀建設工業株式会社
- 代表取締役 芳賀 錠二 様/株式会社トムス・エンタテインメント
- 佐藤 春花 様/株式会社 まるしげ不動産
- 代表取締役 荒川 滋 様/川越 二郎 様/天野 典子 様/相模友の会 様

いつも熱いご支援、ありがとうございます。

新学期が始まって



今年度、児童課幼児係の蓄ユニットから歩ユニットに転属になりました横山護です。同じ幼児ユニットでも女兒は幼児男児より比較的落ち着いており、精神的には少し安心できる印象です。

新学期、特に学年の変わり目になり、子どもも新たな環境のもと不安や希望など色々な感情を抱えています。そのためユニットでは子どもの様子をよく観察し学校や幼稚園での話を聞くなどして、子どもの状態を把握することに努めています。また、頑張っていることを見つけて褒め、モチベーションの維持につながるように心がけています。ただ、頑張るだけでは疲れてしまうので、息抜きやリラックスした時間がとても大切になります。忙しい業務の中難しいところもありますが、少しでも時間を作って子どもと一緒にくつろぎながらテレビを見たり、くだらない話で笑い合ったりするようにしています。

子どもがメリハリをつけて、のびのびと楽しく生活できるように、これからも支援を続けていきたいと思えます。(児童課 横山)

「子どもたちの自立に向けて取り組んでいること」

自立に向けた取り組みとして、今年の3月に退所後の生活を見据えた支援体制の強化を行いました。具体的には、社会的養護自立支援事業者である、あすなろサポートステーションと連携し、児童4名を連れて実際に現地へ同行し利用登録を行いました。事前に見学や説明を受けることで、児童自身が支援内容を理解し、不安の軽減や利用への意欲向上につながりました。また、外部機関と顔の見える関係を構築することで、退所後も継続した相談や支援が受けられる体制を整えました。施設内だけで完結しない、途切れない支援を意識し、地域資源を活用した支援の重要性を再認識するとても良い機会になりました。

今回は、女兒のみだったので、次回は男児の利用登録を計画したいと思えます。(児童課 前田興義)

職員紹介



産休・育休を経て復帰し、現在は児童課男子係に配属となりました吉中梨香です。関わる年齢の幅が広がり、新鮮な気持ちで日々過ごしています。これから子どもたち一人ひとりの思いや成長に触れながら、新たな学びや発見を得られることを楽しみにしています。これまでの経験も生かしながら、子どもたちにとって安心できる存在でいられるよう努めていきたいです。また、周りの職員の方々とも協力しながら、自分自身も成長していけたらと思えます。(児童課 吉中)



今年度から、児童課女子係に配属になりました守屋美幸です。3月までは保育の短大に通っており、子どもの成長や心理などを学んできました。私自身、とても前向きで明るい性格のため、子どもと関わる際にもその性格を活かして行きたいと思えます。まだ不慣れで戸惑う事もありますが、これまでに培ってきた知識や能力にプラスして、先輩職員を見て学びながら自身の能力を高めていきたいです。よろしくお願ひ致します。(児童課 守屋)



今年度から、児童課女子係に配属になりました植田綾寧と申します。大学では臨床心理学を学んでおり、その知識を生かすために自立援助ホーム・保育園でアルバイトをしてまいりました。まだまだ分からないことだらけで不慣れな部分も沢山ありますが、子どもたちが毎日楽しく過ごせるよう気配りを忘れず、切磋琢磨しながら仕事に励みたいと思えます。(児童課 植田)



この度、女子係長として異動してまいりました田中結と申します。去年度までは、ふうせんかずらにて里親支援業務に携わってまいりました。現場で子どもたちと日々関わる業務は久しぶりとなるため、まずは感覚を取り戻しながら、一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと思えます。子どもたち一人一人の思いや個性を大切にしながら、良い面をたくさん見つけ、安心して過ごせる環境作りに努めていきたいです。どうぞよろしくお願ひ致します。(児童課 田中)



今年度から児童課男子係に配属させていただきました、車恭介です。新卒での就職で、大学では心理学を学んでまいりました。子どもと関わることは学生時代にアルバイトやボランティアなどでやってきたため、相模原南児童ホームでもたくさん子どもとの関わりを楽しみ、子どもたちの成長を支援していきたいと思えます。まだまだ至らないところが沢山あるかと思えますが、子どもたちが楽しく日々過ごせるように一生懸命頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。(児童課 車)



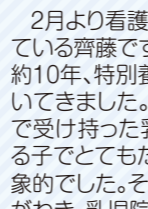
今年度から児童課幼児係に配属となりました一色と申します。以前学童で働いていたこともあり、子どもの面倒を見るのが好きなので、沢山会話をしたいと思えます。1人1人が健やかで楽しく過ごせるよう、日々の業務に努めます。研修では、課題の解決には周りの協力が大切だと教わりましたので、周りの職員や先輩と積極的に会話を取りながら、仕事に取り組もうと思えます。周りにご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思えますが一生懸命取り組んでいきたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。(児童課 一色)



昨年の4月に入職し産休をいただいておりましたが、この度児童課幼児係に復職いたしました。分からない事は分からないで終わらせずに先輩方にしっかり聞き、子どもたちが安心して過ごせるように一人ひとりに寄り添った関わりを大切にしていきたいと思えます。まだ不慣れな点もありますが、少しずつ成長していけるよう頑張ります。宜しくお願ひ致します。(児童課 鈴木)



5月から、栄養管理係に配属になりました栄養士の鈴木由起子です。食事はからだの成長に不可欠なものです。同時に心も育てるものでもあります。何かの折には、栄養士もユニットで調理するなど、子どもたちと楽しく食を通してかかわれたらと思えます。これまで、保育園や病院などで勤務した経験を、相模原南児童ホームで活かしていけるよう努めます。皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。(栄養管理係 鈴木)



2月より看護師として働かせていただいている齊藤です。急性期病院と大学病院で約10年、特別養護老人ホームで約15年働いてまいりました。昔、看護学校の小児科実習で受け持った乳児が乳児院で生活している子でとてもたくましく育っているのが印象的でした。そこから乳児院の存在に興味をもち、乳児院で働いてみたいと思えました。今回ご縁があり働かせていただき、親の愛情に飢えている子たちにも愛情を注げるお役に立ちたいと思っております。よろしくお願ひ致します。(健康管理課 齊藤)

河原で花火鑑賞会をしました



今年も5月2日(土)河原で花火をさせていただきました。通常よりも長く大きな手持ち花火と打ち上げ花火の鑑賞会をしました。今年、大玉の花火を施設の子どものために打ち上げていただき、子どもたちは大喜びでした。これからの時期になると様々な箇所で行われている花火大会を施設のベランダから見る事ができますが、自分たちのために打ち上げてもらった花火は特別で、年齢の低い子も「おー!きれい!」と花火から目を離しませんでした。会場全体が感動と、一体感に包まれていました。また、この花火のイベントは、写真家の方々も参加されています。撮影された写真にも子どもたちは興味津々でした。子どもたちの生活は、施設の外からもたくさん支えていただいていることを肌で感じた時間でもありました。

開催して下さった金武様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。(児童課 二瓶)



「大凧まつり」に行きました

江戸末期から約200年以上続く伝統行事の「大凧まつり」が今年も5月4日(月)・5日(火)に相模川で開催されました。相模原南児童ホームの近くにあるスポーツ広場では、14.5メートル四方、約950kgものサイズの大凧が揚げられ、多くの人で賑わっていました。

子どもたちも毎年楽しみにしている行事の一つであり、今年もお祭りへ出かけました。会場内を散策しながら、屋台では10円パンや鈴カステラなど思い思いに食べたいものを買って、お祭りならではの雰囲気を楽しんでまいりました。また、迫力のある大凧が空高く上がる様子を見ながら、地域の伝統文化に親しみ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。(児童課 杉山)



縁日を開催しました



5月9日(土)、相模原シティライオンズクラブの皆様によるブルーベリーの植樹。そして子どもたちの為に縁日を開催して頂きました。今年のゴールデンウィークも家族と過ごすことのない子どもたちが殆どでした。(15年くらい前には、ゴールデンウィーク含む長期休みは、家族が生活している自宅に戻って外泊する児童が多かったです。)

そのような中で、この日の為に予め相模原シティライオンズクラブの皆様が作成して頂いたポスターを子どもたちに周知しておりましたので、子どもたちにとって待ちに待ったイベントでした。室内(地域交流室)は賑わい、沢山の笑顔が見られました。縁日にふさわしいお囃子BGMが流れ、屋台にはくじ引き、ヨーヨー釣り、射的、綿菓子、かき氷、輪投げがあり、「いらっしゃい、いらっしゃい!!」と大きな声が響きます。また、屋台で使用できる金券を子どもたちに配布し、お小遣いを持った感覚でお買い物体験。各屋台に足を運び、金券と引き換えにくじ引きや食べ物を頂き、子どもたちはとても楽しんでまいりました。

何よりもライオンズクラブの皆様方が子どもたちにやさしく接して下さり、子どもたちも安心して交流できました。皆様のご協力に感謝申し上げます。誠に有難うございました。(副所長 手塚)

